◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

参加児童数（２日間を通してのおよその数）

松江養護学校　１９人　松江清心養護学校　２３人　（計　４２人）
松江市内小学校特別支援学級（　２５　校　６７　学級）　２２５人
交流学級児童＜予定＞　内中原小学校 2年 108人、島根小学校 3年 21人
母衣小学校 3年 77人、竹矢小学校 5年 10人
※AC ブロック 13 校 特別支援学級 112 人 通常の学級 129 人
※BD ブロック 12 校 特別支援学級 113 人 通常の学級 87 人

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

## ♪なかよし発表会の主旨

〇松江市内の小学校特別支援学級及び特別支援学校の子どもたちが集まり、互いに日常の学習成果を発表し合うとともに、たくさんの人の前で発表することを通して、自信や意欲をもつことができるようにする。
〇発表会を通して、一般の人々が障がいのある子どもや特別支援教育への理解を深めていく機会とする。

## ♪なかよし発表会の歴史

この発表会は、昭和 39 年に旧松江市で第 1 回目の学習発表会が行われ、平成 17 年まで 40 回行ってきた歴史のある発表会です。平成 17 年度、新松江市となり、今までの歴史を大切にしながらも、新しい仲間を加え、2 日間に分けての『第 1 回なかよし発表会』を行い，本年度第 15 回目をむかえることとなりました。

旧市内で始まった当初は、会場は参加校持ち回りで、各小学校の体育館等で発表し合っていました。昭和 40 年代に島根県民会館ができてからは、会場をそちらに移し、子どもたちは大きな舞台で大勢のお客さんの前で発表するようになりました。

何校かがグループになって合同で発表する学校もありますが、近年は学校単独での発表も増えてきています。どの発表も子どもたち一人一人が自信をもって取り組めるよう発表の形態や内容を工夫して、どの学校も素敵な発表となっています。

この歴史ある『なかよし発表会』を、今年もすばらしい発表会にしたいと思っています。

## ♪名称「なかよし発表会」について

子どもたちの楽しく元気な様子が見られ、あたたかい雰囲気でみんなに親しまれるような素敵な名前を‥‥と考え、平成 11 年度に「なかよし発表会」と名付けました。今後も皆様にこの発表会のことをもっと知っていただき、松江で「なかよし発表会」といえばこの発表会のことだとわかっていただけるよう続けていこうと思っています。

## ♪一人一人が主役！　みんな仲間！

特別支援学級や特別支援学校で学んでいる子どもたちは、学習や生活において何らかの特別な支援が必要ですが、子どもたちそれぞれに、得意なことや好きなこと、挑戦していることなどがたくさんあります。「なかよし発表会」では、そんな一人一人がみんな主役になります。誰もがキラキラ輝き、いきいきと発表している姿がステージで見られることと思います。時には、大きなステージやたくさんの観客にとまどってしまう子もいますが、そんなありのままの姿を見ながら、これまでの練習で努力してきた姿も思いうかべていただきたいと思います。どの子にとってもこの発表会での経験が大きな自信につながっていると確信しています。

また、練習段階で校内の友だちが応援したり、校内発表を見て声援をおくったりと、あたたかくてほほえましい関わりが多くの学校で見られます。発表当日、交流学級の友だちが同じステージに立って参加したり、準備を手伝ったりする学校もあります。『障がいがある子もない子もみんな同じ仲間。ともに生きていくんだよ。』というメッセージが皆様にも聞こえてくるでしょう。